

第11回幹事会からこんにちは！
今月の幹事 工藤哲夫さん

さらなる発展には 団結と情報発信を

今回の「幹事会からこんにちは」は、「は、当委員会幹事兼観光部会長の工藤哲夫さんにお話を伺いました。

——高速道路撤去について、観光部会の部会長としてはどのように感じていますか。

早く取ってほしいです。東京オリンピックの輸送計画に首都高が組み込まれているので、その前に、というのは無理だと思えます。それはしょうがない。オリンピック後に速やかに、という感じですね。

——高速道路が取れたら観光客は増えると思いますか。

それだけで増えるとは思いません。ありがたいことに、イチノイチノイチだとか、豊年萬福だとか、やつとそういう川に向かつてやっていこうというところが少しずつ現れてきました。たしかに高速道路を取って、日が当たることによってさらなる水質の改善も図れるとは思いますが、すけれども、その水辺をいかに楽しい空間にしていくかという努力も当然求められてくると思います。

今月の幹事



——日本橋観光案内所の活用については？

観光案内所は、情報発信の一つの拠点ですよね。もちろんコレド室町の地下にもあったんだけど、でも、なかなか目に見えにくい部分もありました。今回日本橋という象徴的な橋の袂に、多くの人の目に留まる場所にできたということは、非常にありがたい。あとは、いかに楽しい街であるかということの発信をしていく。楽しい街であるためのイベントや盛り上がりのお手伝いができたらいいかなと。

——変化の実感はある？

自分の中では実感はあまりないんですが、訪れた人の数を聞くと、活用されているなという気はしますし、努力は、地道に重なって大きな花になっていくんじゃないかなと思います。たまにSNSでね、あるところが急にバーン！と伸びるっていうこともあるんですけど、常に情報を出してそれが少しずつ少しずつ広がっていく中で認知度が高まるということもあると思いますし、そういう第一段階にあるかなと思います。

当委員会幹事

工藤 哲夫 さん

ホテルかずさや 代表取締役社長
中央区ホテル旅館組合 組合長
当委員会観光部会 部会長

——ホテル旅館組合としては？

案内所ができたからすぐ結果が出ましたとはならない。でも

インバウンドがこの5年くらいすごい勢いで伸びていることで、宿泊業が非常に活性化されつつあるんです。日本橋地区のみならず銀座地区も、中央区じゅう、東京じゅうに、多くの新規ホテルが出来てきました。

一つのホテルは素晴らしくても、その地域があんまりおもしろくないねとなれば、お客さんも足を運んでくれない。だから一つのホテルが素晴らしい営業をしている。隣も素晴らしい、さらに横のホテルも素晴らしい、そしてそのまわりの面である地域も、おいしいレストランがあったり、老舗のお店があったり、観光客を楽しませるものがある。いろいろあって、はじめてそのまちの力になると思うんです。

その情報発信の場ができたので、これからますます期待が持てるんじゃないかな。

——最後に、ルネッサンス委員会をよりよい会にするためには、何が重要だと思いますか。

いろいろな人に、まず活動に参加してもらって、それぞれの活動がなるべくうまく結びつくような組織になれば、さらに活性化していくんじゃないかなと。だから部会もいろいろ分かれていきますよね。その中には、いろんなキャラクターやいろんなお仕事の方がいるわけで、自分の知らないことをやってもらったりする方も大勢いるわけです。やはりそういうさまざまな人が力を合わせることによって、ルネッサンス、しいては日本橋地域のポテンシャルが、上がっていくと。

そりゃ個々でやるのはもう当然のことだけれど、個々でやることなんてのは限られてますから、やっぱりそれは目的を同じくする組合だったりまちづくりの組織だったり、そういうところで力を合わせて大きな力になるということ、いかにそこで、魅力的な情報発信ができるかという、ことが大事だと思います。

■日本橋ここが好き！

うまく表現できないですが、あまり目立たず、ちょっと控えめなんだけど、しっかり本物が息づいている街だなあ、というのが好きですね。

■趣味

普段からトレーニングはしています。今年は落選してしまいましたが、東京マラソンは何度か出場しました。ほかに、ゴルフも少々。

■好きな食べ物、お店

麺類が好きです。ラーメンも日本蕎麦も。スパゲッティも好きです。お酒の締めラーメンは太るから食べないようにしています。

ご協力ありがとうございました！
次回もお楽しみに！

